

<第2議案>

2014年度収支決算（案）

8～9ページの2014年度収支計算書（自2014年1月1日 至2014年12月31日）と貸借対照表（2014年12月31日現在）をもって、2014年度収支決算とする。

<説明>

2014年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

14年は、常勤スタッフ2人体制を前提に、当年度収支差額2万円の黒字を見込んでいたところ、8月から常勤スタッフ1人体制となったことを最大の要因として、約117万円の収支黒字となった（予算比で約191万円の収入減、約305万円の支出減）。全体としては、ピースデポの財政基盤である会費および書籍収入が予算を下回るなか、予算を超える委託業務収入および講演・執筆収入、助成金の満額獲得、上記人件費およびその他の経費削減努力による支出減等によって、財政状況が黒字で維持される形になった。

ピースデポ財政の実態を見やすくするために、将来計画資金は繰越金に含まず、別枠に示した。

以上を勘案すると、2015年度予算への繰越金は、貸借対照表上では約1183万円であるが、表の決算欄の「次年度繰越金」に計上されている約469万円である。

2. 会費収入について

会員・購読者の正味増20口を目標としたが、入会者が少なく、達成できなかった。未納会費・購読料の回収努力は行ったものの、会費収入全体で予算比約83万円の減となった。

3. 事業収入・支出について

イアブック2014の収入は予算比約62万円減、支出は予算比約53万円減であった。結果として実質収入については、約36万円（予算比約9万円の減）と、刊行時期の遅れから目標を達成できなかった。イアブック2013の収入は、予算比約9万円減、NPTブックレットの収入は、予算比約2万円減となった。講演・執筆収入は約3万円増となった。情報サービス・調査受託収入は、日本生協連のパンフレット作成や、川崎市平和館常設展示更新事業の受託などを行ったことにより、予算比約33万円増となった。公開講演会・セミナーの支出は、2月の総会記念シンポジウムで明治学院大学白金校舎を利用したこと等により、約35万円の減となった。

事業収支全体では、収入が予算比約97万円の減、支出は予算比約137万円の減であった。

4. 寄付金収入、助成金収入について

寄付金は、夏季、海外派遣、冬季カンパで目標に近い水準まで達したが、一般寄付金は達成できず、収入は予算比で約7万円減となった。予算化していた助成金50万円は満額獲得できた。

5. 管理費、予備費について

管理費全体としては、予算比で約164万円の減となった。8月以降、常勤スタッフが1名となったことにより、給料が約91万円の削減となった。加えて、日常的な印刷費・消耗品費の縮減に努めたことなどが支出削減へとつながった。